

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
青山 訓与			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	AC (会計)	107 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	工業簿記の授業では、材料などの仕入れ、製品の製造や販売といった経営活動を行う製造業に適用される簿記について学修する。工業簿記は原価計算によって算出された数字を用いて、製造業の内部活動を記録、計算するため、原価や原価計算について学修することが中心となるが、財務諸表や原価管理についても触れる。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、総合原価計算の基礎の復習 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第2回 工程別総合原価計算 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第3回 組別総合原価計算 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第4回 等級別総合原価計算 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第5回 製造原価報告書 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第6回 標準原価計算 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第7回 原価差異の計算 (直接材料費・直接労務費) 予習 (時間) : テキストのこれまでの範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第8回 原価差異の計算 (製造間接費) 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第9回 直接原価計算 (CVP分析) 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第10回 直接原価計算 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第11回 本社工場会計 標準原価計算 問題演習 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第12回 個別原価計算の復習 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第13回 個別原価計算の応用 直接原価計算 問題演習 予習 (時間) : テキストの今回の範囲を読み、疑問点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : 今回の範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第14回 総合模擬演習Ⅰ 予習 (時間) : これまでを振り返り、苦手な点、理解不足な点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : これまで学修した範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p> <p>第15回 総合模擬演習Ⅱ 予習 (時間) : これまでを振り返り、苦手な点、理解不足な点を抽出する。 (120) 復習 (時間) : これまで学修した範囲の問題を解いて復習する。 (120)</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	この授業では、DPに記載のある以下の能力向上を目指す。 4. 豊富な実務体験を積んでおり、自ら地域と関わることができ、課題発見能力を身に付けている。
到達目標	工業簿記・原価計算の基礎を学修、理解し、説明することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題は、修正点・注意点を赤字で記入の上、返却する。 小テストは、注意点など授業内で解説する。
履修上の注意	①工業簿記Ⅰとセットで受講することが望ましい。 ②受講者は、簿記の基礎的な知識があることが望ましい。 ③電卓 (12桁が理想) を必ず持参すること。 ④簿記検定 (日商簿記、全経簿記) の受検を推奨しますが、詳細については、講義の初めに説明する。

	⑤無断欠席、授業中の私語・飲食厳禁。 ⑥遅刻は基本的には欠席とする。
成績評価の方法・基準	①定期試験60% ②授業内の課題20% ③学修意欲20%
教科書	全経簿記能力検定試験公式テキスト1級 原価計算・工業簿記 編著者：桑原知之 出版社：ネットスクール出版 定価：¥2000 ISBN番号：978-4-7810-0235-4 必要に応じて適宜プリントを配布する。
参考書・教材	
備考	
教員との連絡方法	Melly